

- 1 対象となる幼児児童生徒
麻痺の強い或いは重度な幼児児童生徒
- 2 教材を使用する活動
自立活動
- 3 ねらい

腕の緊張が強くて、ボウリングボールまで手が伸ばせない生徒或いは力が弱く、自分の力ではボールを押し出すことのできない生徒が棒スイッチとラジコンを使うことで、主体的に活動できることをねらいとして作成した。

教材の使い方	配慮点
<div data-bbox="167 817 965 1265" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="167 1276 965 1411">○ボウリングセット (ボール、ピン、フロアシート)、ボウリング用スロープ、ティースタンド、棒スイッチ、ラジコンアプローチ (板の部分)</p> <div data-bbox="167 1422 646 1736" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="614 1444 965 1601" data-label="Text"> <p>ボウリング用スロープは業者に依頼し製作</p> </div> <div data-bbox="231 1780 630 1982" data-label="Text"> <p>ラジコンが動くためのアプローチ部分が必要だったので、余った廃材で作成。</p> </div> <div data-bbox="678 1612 965 2004" data-label="Image"> </div>	<p data-bbox="1005 795 1468 1030">○動かすことのできる部位を探し出し、棒スイッチをセットする。 ※障害の重い生徒の場合は、言葉かけや感覚刺激を与えて、本人の動きを引き出してあげる。</p> <p data-bbox="1005 1086 1468 1310">○本人の持っているわずかな動きを棒スイッチが感知し、ラジコンを動かすことができ、ボウリングボールを押し出すことができる。</p> <p data-bbox="1005 1366 1468 1601">○スイッチを押す➡ラジコンが動く➡ボールが動く➡ピンが倒れるという因果関係がわかってきたら、積極的にスイッチを押す生徒もいた。</p> <p data-bbox="1005 1657 1468 1747">○本人の動き (主体的) でボウリングに参加することができる。</p>